

女学校正門 (1914年のアルバムから)

ントン先生と遺品

デ



一九四八年一月) 勲三等瑞宝章

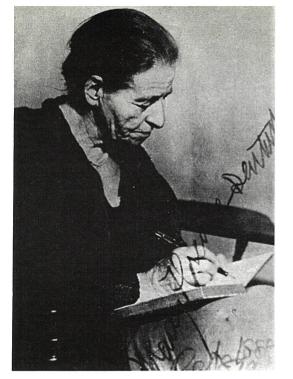


昇り口の柱にかけておられた。 デントンハウス西南角のポーチへの を関製表札・陶芸家河合寛次郎の作。

食卓・食堂の中央に置かれ、昼食も夕食も来客のないことはほと んどなかった。(現在は家政実習ハウスで使用。)



保存されているものから



Mary Florence Denton



訪問者署名簿・内外の著名人の署名もみられる。



机・読書や書きものは、ほとんどこの 机ではなさらなかった。むしろキャビネットとして、又、生徒たちのノート や雑誌・書物の置き場所として使用さ れるほうが多かった。









鉢と油つぼ・日本の美術工 芸品を限りなく愛された先 生の食卓で使われたものは ほとんど古い陶磁器の食器 であった。



入試合格発表の大学キャンパス